

どうとくのひろば

テーマ「わかりあうこと」

No. 15

●こ・こ・ろのひろば

笑う門には「どうとく」が …………… 春風亭昇太

●見てわかる！道徳

「相互理解、寛容」と「公正、公平、社会正義」… 越智 貢、奥田太郎、上村 崇

●わたしの生き方

ゲストハウスでご縁と幸せのおすそわけ …………… 森岡咲子

●こんなとき、どうする？

きらいな子とも、仲よくしないといけないの？

…………… 谷口雄一、宮里智恵、永林基伸

●道徳マンガ

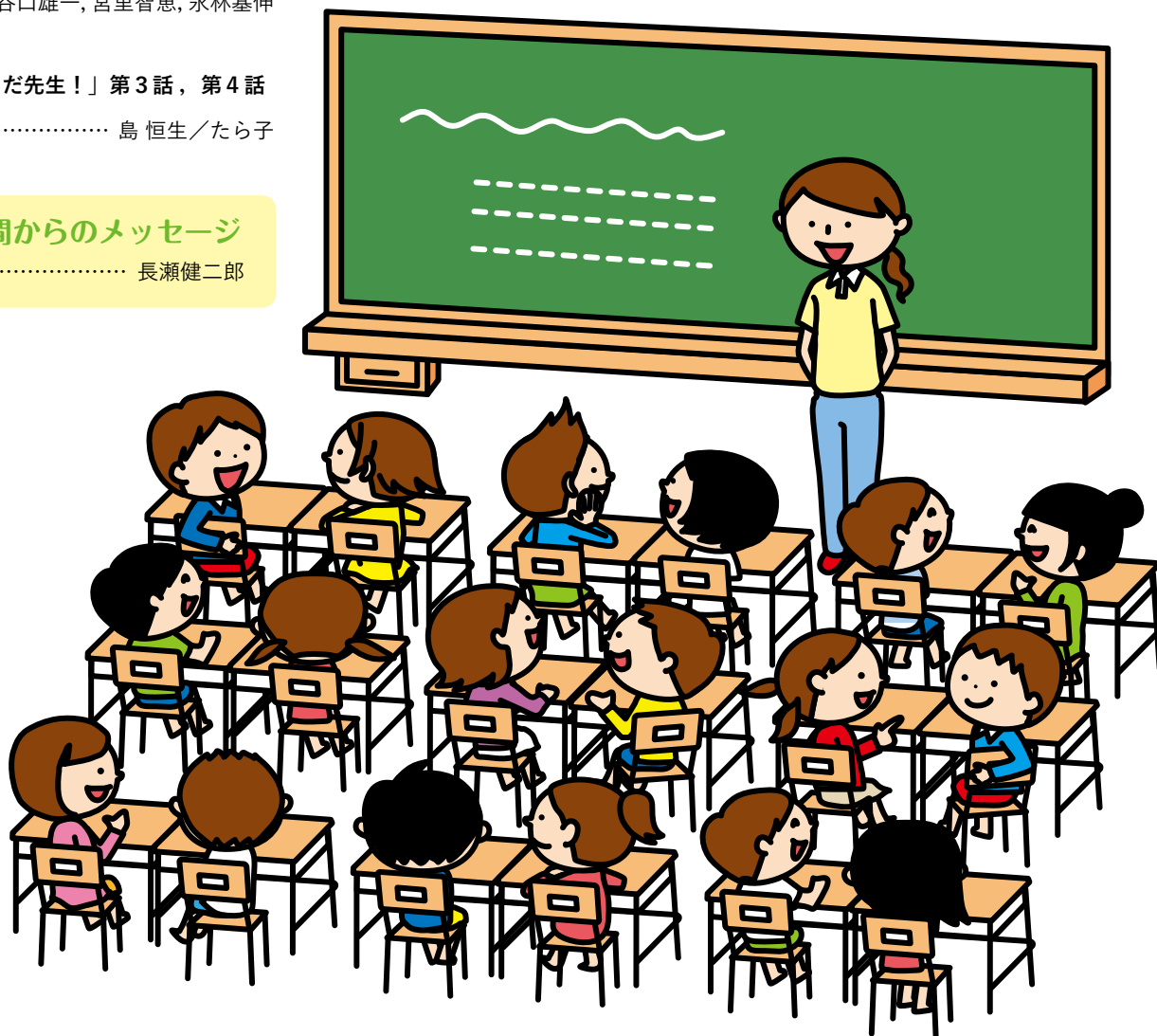
「どうする？とくだ先生！」第3話、第4話

…………… 島 恒生／たら子

連載

地球の仲間からのメッセージ

共に生きる …………… 長瀬健二郎



本資料は、「教科書宣伝行動基準」に則り、配付を許可されているものです。

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ！

日文

検索

未来をになう子どもたちへ

日本文教出版／秀学社



こ・こ・ろのひろば

笑う門には「どうとく」が



落語家（落語芸術協会理事）

春風亭昇太

プロフィール

本名：田ノ下 雄二

生年月日：1959年12月9日

出生地：静岡県静岡市

東海大学文学部史学科日本史課程中退後、春風亭柳昇に弟子入り。

1992年、真打昇進。

2000年、文化庁芸術祭大賞受賞。

日本テレビ「笑点」大喜利レギュラー他、舞台、映画、TV、ラジオなど幅広く活躍。

2016年、「笑点」大喜利の司会者に就任。

—このたびは「笑点」司会者ご就任おめでとうございます。世間ではサプライズとか大抜擢とか言われていますが……。

自分でも驚いて、お話をいただいた時は「ドッキリ」じゃないかと、思わず周りを見回しましてカメラがないか探しましたよ（笑）。本当だとわかって、大変な事になったなと思いました。なにしろ歴代の司会者が錚々たる方々でしたので、正直プレッシャーですね。しかし、選ばれた以上、期待に応えられるよう頑張りたいと思います。

—責任も重いと思いますが、どんな大喜利にしていきたいとお考えですか。

笑点を変えようとは思っていません。あの番組は番組開始からほとんど形を変えていません。その間、他の番組はどんどん進化していったのですが、笑点だけが変わらなかった。その変わらなかった事で、ガラパゴス諸島のように、いつの間にか笑点がアナログ的な特徴が際立った、唯一無二の番組になっていたわけですからね。司会は、回答者の答えの交通整理ですから、そのつど考えてやります。

—ところで昇太師匠は多趣味で知られ、特に「お城」に造詣が深いことで知られていますが、きっかけは何だったんでしょうか。

子どもの頃、僕の生まれた場所が「二の丸町」という名前であることを知り、「お城なんかいいのになんでだろ？」と不思議に思ったのがきっかけでしたね。調べてみたら、そこは武田氏が駿河に侵攻して水軍の基地として造った「江尻城」の跡だったのを知り、「昔お城があった場所で生ま





れたんだ！」ってね。興味のもとがそれだから、遺構が何も残っていなくても楽しめるんですよ。

一昇太師匠からみたお城の魅力はどんなところなのでしょう。

一般的に日本ではお城といえば天守閣というイメージですよ。しかし例外はありますが、天守閣は戦国時代末期から、江戸時代初期までの短い期間でしか造られていませんでした。日本人が大好きな戦国時代のお城は、土を掘って堀として、その掘った土を積み上げて「土塁」という障壁を造るなどして築いた「土造り」のお城なんです。だから城は「土」で「成」と書いて「城」なんです。地質や場所により様々なタイプの城が築かれていて、見に行ったら飽きる事がないですよ。何しろ城の総数が3万から4万といわれていますからね。

一本まで出されているとか。

ええ、『城あるきのススメ』っていう本ですからぜひそれを読んでみてください。

一ところで、この冊子は「道徳」をテーマにしているのですが、落語と道徳ってユニークな取り合わせのように思いますが……。

落語と道徳というと、相容れない対極にあるもののように感じる方もいると思います。例えば「ちりとてちん」という落語があります。この噺は、いつも文句ばかり言っている「寅さん」が腐った豆腐を食べさせられるという落語なんです。登場人物の失敗を通じて、笑いの中で「人との接し方の大事さ」をそれとなく伝えています。道徳教育の目標は、「よりよく生きる力」を育むことだ

そうなので、その意味では落語も道徳的だと思いますよ。

一なるほど。そういえば落語には個性的な人物が登場しますね。個性についてはどう思われますか。

そうですね。古典、新作を問わず、落語の主人公はたいていとても個性的です。一般社会では爪弾きにされそうなそういう人物が、落語の世界では主役になって、さまざまな笑いや人情話を展開していくわけです。その意味で落語では人間の個性が重視されているといえます。そのせいかどうかわかりませんが、僕を含めて落語家自身が個性的な人が多いですね。笑点メンバーを思い浮かべてもらえれば納得いただけますよね。それぞれのキャラがありますし……。僕はご承知の通り独身キャラですが……。

一でもそれを言ったら……。

「座布団一枚取っちゃって！」になるわけ。

一メンバーのみなさんお互いにそれを認め合ってむしろ高め合っているように感じますね……。

そうですね。個性は相互に認め合い、高め合うことによってどんどん伸びていきますよね。これって道徳的ですかね。

一もちろんです。「個性の伸長」も「相互理解」も道徳の学習指導要領に載っている道徳的価値です。

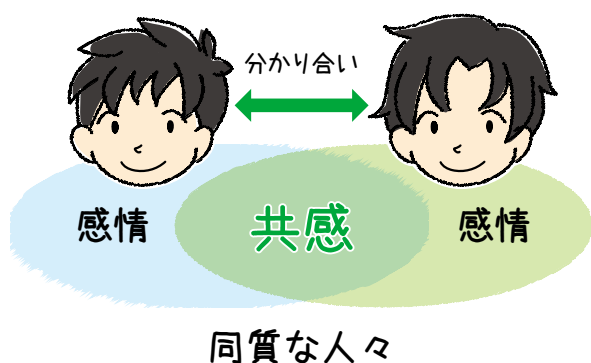
そうですか。やっぱり落語は道徳的ですね。

一ありがとうございました。ますますのご活躍を期待しています。

見てわかる！ 道徳

共感

人と人が分かり合うとはどのようなことでしょうか。互いに共感し合うことができれば、分かり合うことができそうです。ただし、目の前の他者が抱いている感情や感覚に共感するためには、どのような状況や対象に対してどのような感情や感覚を抱くのかといったことが、あらかじめ共通理解として成立していなければなりません。このように、共感が、同質的な人々の間でのみ成り立つものであることを理解しておくことは重要です。



寛容

いうまでもなく、この世界で出会うのは同質的な人々ばかりではありません。なかには、とても共感できそうにない、自分とはまったく異質な人々もいるでしょう。どうしても分かり合えない人々に対して、私たちはどのように振る舞えばいいのでしょうか。自分自身とは相容れない、思想信条も異なる人々に対して、その存在を認め理解すること。この姿勢は、「寛容」と呼ばれます。共感が感情を介した他者との分かり合いであるのに対して、寛容は理性を介した他者との相互理解です。共感が十分に成り立つ世界では、寛容が課題となることはありません。むしろ共感が成り立たず、分かり合えない他者との間でこそ、寛容が要請されるのです。気持ちの上ではどうしても相手のことを許せないと感じていたとしても、いや、そう感じているからこそ、理性を働かせて、相手のことを理解し、その存在を認めなければなりません。

寛容の限界

寛容の精神は本来、相容れない相手の存在を認め理解することですから、こちらに共感していない相手についても、こちらからその存在を認め理解することが求められます。では、差別や偏見に基づき他者を傷つける不寛容な相手であっても、私たちは寛容を貫かねばならないのでしょうか。これは、「寛容の限界」というきわめて難しい問題です。不寛容を容認してしまえば、そもそも寛容なるものが無意味になります。他方で、不寛容に対する不寛容が許されるとすれば、不寛容のカードを切り合う抑止力論的な暴力の応酬に帰結しかねません。いったいどうすればいいのでしょうか。

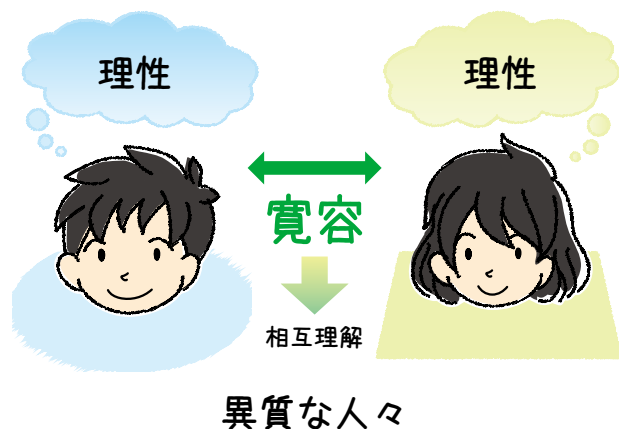


図1 共感と寛容

第2回 「相互理解、寛容」と「公正、公平、社会正義」

監修：広島大学大学院 教授 越智 貢

共著：南山大学 教授 奥田太郎 福山平成大学 教授 上村 崇

不寛容に対する不寛容

具体例を用いて、不寛容に対する不寛容のあり方について考えることにしましょう。

たとえば、ヘイトスピーチのような暴力的な不寛容に対して、暴力的な不寛容をもって応ずるのでは抑止力論的な暴力の応酬でしかありません。それに代わる不寛容の姿勢として、不寛容な相手に現状の態度を変えし理性的な振る舞いを強く求めるような不寛容を、非暴力的に突きつけることはできないでしょうか。もし可能であれば、この不寛容は、それが向けられる不寛容とは別種のものであるはずです。それは、社会の基礎を支える社会正義に基づく不寛容でなければならないからです。

社会正義と不寛容

こうした正義の観点は、いじめ問題を考える際にも重要です。集団でいじめが行われているとき、そこに寛容の態度はなく、むしろ狭く偏った共感が働いていると考えられます。特定の人物を理解の対象とみなさず、その人物の存在を傷つけることによって、いじめる集団に属する子どもたちは、仲間内での共感を強めます。しかし、その共感に対して「いじめることで強められる共感や仲間意識は本当に正しいのか」と問うことが可能です。いうまでもなく、いじめは、人間の存在を否定することに他ならず、とうてい正しいとは言えない行為ですから、そうした行為によって強められる共感や仲間意識もやはり正しいものではありません。それゆえ、いじめという不寛容な行為のみならずそれに基づく仲間意識に対しても、私たちは「正しくない」としてきっぱりと否定する必要があります。こうした否定もまた、先のヘイトスピーチの場合と同じく、社会の中で誰もが尊厳を傷つけられるべきではないという社会正義によって支えられる不寛容です。

これらの不寛容は、道徳にかかわる問いを理性的に追求することを通して得られる不寛容であり、それゆえ寛容の精神に根ざした不寛容とも言うるものです。このように、寛容の精神を考えることは、寛容と不寛容の境界線がどこでどのように引かれるべきかを考えることでもあります。そして、その際に忘れてならないのが、相手を認めるという寛容の精神を支える社会正義の観点なのです。

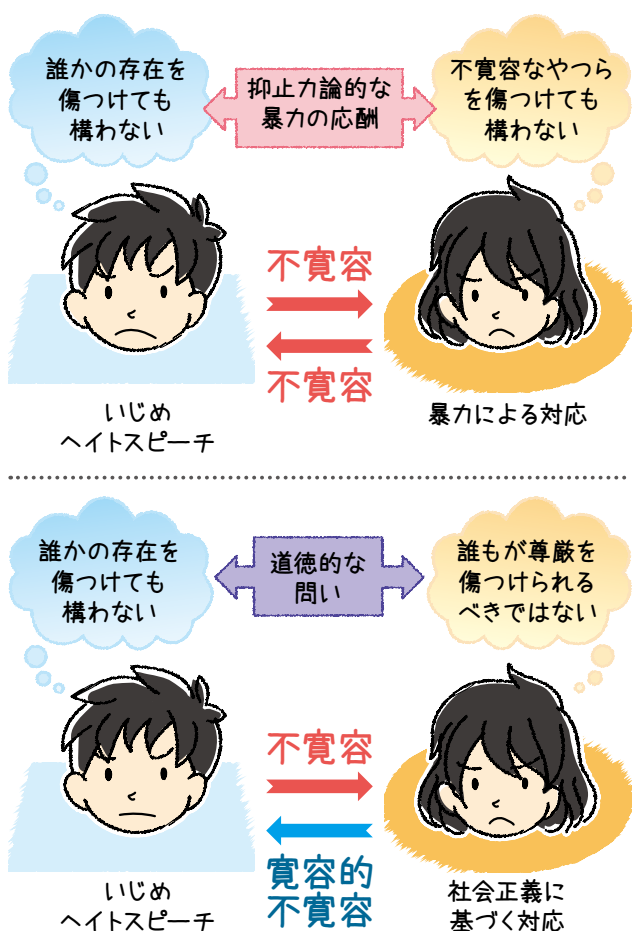


図2 不寛容に対する不寛容



わたしの 生き方

ゲストハウスでご縁と幸せのおすそわけ

私は、JR福井駅東口から徒歩約5分の場所で小さな宿を営んでいます。築約60年の古い民家を自分で改修して作った、男女別相部屋、素泊まりが基本のリーズナブルな宿です。ゲスト同士や地元の人とも交流できる共有スペース（キッチンやリビング）があって、おしゃべりをしながら情報交換をすることができます。ゲストは基本的には一人旅か二人旅の日本人が多いですが、ビジネス利用の方や、海外からの旅行者もよく来てくださいます。

このようなスタイルの宿（ここでは「ゲストハウス」と呼びます）は世界中にありましたが、福井エリアにはこれまで数が少なかったため、自分自身が欲しいと感じ、「誰かがやる前に自分がやりたい!」と、開業することを決めました。その経緯を少しご紹介しようと思います。

高校を卒業後、私は「刺激的な環境が無い福井には二度と戻らない」という思いを胸に上京しました。そして大学時代を経て自分が心から好きだと思える仕事に就き、充実した毎日を送っていました。

就職したのは大きなビルや橋・ダムなどを作る大手建設会社。男社会の中でバリバリ働き、やりがいも、働きに見合う収入もありました。しかし、あるとき「働きすぎ」ともいえる生き方に疑問を持つようになります。ちょうどその頃、地元福井で面白い活動をしている人たちのことも耳に入っ

てくるようになり、福井が魅力的な場所として目に映り始めたのも一つのきっかけです。

そして、今の仕事を始めることを思いつきました。元々、交流のできる宿に泊まって旅をするのが好きだった私には自然の流れでしたし、空き家を改修して宿にすることも、「身の回りの暮らしをDIYしたい」というかねてからの希望を叶えるものでした。

そうして私は、組織の中で踏ん張って変化を起こしていくのではなく、環境を変えて自分に合う働き方・生き方をしていく方を選びました。「どちらが正しいか」というよりも、より自分にしかできないこと、困難も伴うけれど、結果的に自分自身が楽しく笑顔でいられると感じた方を選んだと思っています。

さて、ゲストハウス経営という仕事。開業してまだ1年ほどですが、宿単体では成立しない仕事だなあと実感しています。ゲストに「福井、良かった! 楽しかった!」と感じてもらうためには、周囲のお店や近所の人々の存在が不可欠です。ゲスト一人ひとりと話をして（小さな宿の特権です）、その人の趣味嗜好や体調などに合わせ、相手の立場に立って喜んでくれそうな場所や人を紹介しています。

当宿のゲストたちは、その土地ならではの体験や出会いを求めていることが多いので、観光地だけではなく、地元の人しか知らないような穴場の

福井ゲストハウス SAMMIE'S 経営 森岡咲子

プロフィール

1986年、福井市生まれ。

福井には二度と戻らないと決め、18歳で上京。

東京で自由な生活を謳歌し、学業、旅、アルバイトなどを通じて自身のライフワークとしたいテーマを見つける（建築やプロダクトのロングライフデザイン、アートと公共性など）。

2008年、東京大学経済学部卒業後、大手建設会社に就職。

充実した日々を送るが約7年後の2015年1月に退職。

Uターンし福井駅近くの一軒家を約半年かけてDIYで改修。

2015年8月、ゲストハウスを開業した。



カフェやバー、友人がやっているお店や溜まり場をよく紹介しています。そのような場所に行くゲストは、当宿からの紹介だとお店の人に伝えてくれることが多く、ゲストを介してお店同士のネットワークも生まれています。また、お店のスタッフの方や常連さんが、ゲストに地元の情報を教えてくれたことで、ゲストが福井の魅力を再認識してくれ、旅の計画を変更して滞在を延ばしてくれたこともあります。

こうして当宿が間に入ることで、ゲストに「ガイドブックに載っていない発見」を提供できます。そして「旅先での顔見知りの友人」ができやすくなる。「福井って実は面白い」と感じてくれたゲ

ストの顔はとても生き生きしていて嬉しくなりますし、友人ができれば、その人はきっとまた福井に来てくれる。リピーターになってくれるのです。

こういった理由から、私の仕事は周囲から地域活性化が目的だと思われることも多いのですが、そのためにこの仕事をしているのではありません。目の前の人笑顔になるのが嬉しくて、自分が得意なことを、等身大で、たまに背伸びをしながらやっているつもりです。「周りのため」という大義名分は、聞こえはいいですが、自分のことを疎かにするとあっという間に疲れてしまいます。周りの幸せを自分の行動の理由にすると、ついつい見返りを求めてしまったり、押し付けがましくなってしまうたり、無理が生じることが多いです。

自分の心が満ち足りて楽しい状態にあれば、その様子を見て自然と人や情報が集まってきます。まずは自分が元気で健やかな心持ちでいることが大事。その結果、周りを楽しくさせられたらいいと考えています。自分の幸せや楽しい気持ちを「おすそわけ」。これが理想です。ついつい周囲の期待に応えようと頑張ってしまうのですが、自分の事業のハンドルを握るのは自分自身であることを忘れずに、これからも邁進していこうと思っています。



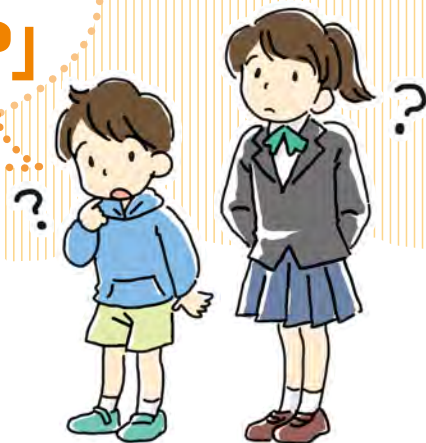
こんなとき、どうする？

今回のテーマ

「きらいな子とも、仲よく しないといけないの？」



子どもたちと接する中で出てくる、
「こんなとき、どうする？」。
道徳教育をより輝かせるためのヒントを、
先生方に教えていただきました。



「きらい」は分かり合うことへの第一歩

和歌山市立松江小学校 教諭 谷口雄一

難しい質問ですね。なぜなら、このように言ってきたことから、この子は、①相手に対して何かしらマイナスの感情をもっている、②何らかの関わらざるを得ない状況にある、といったことが想像できるからです。しかし、③どこかに「仲よくしないといけない」という思いがある、というも事実ではないでしょうか？

その上で、私は、「きらいは“分かり合うため”の第一歩だよ。」と投げかけます。「きらい」という前提に、「相手のことが気になる」という思いがあるからです。また、「自分が思っているようにして欲しいのに」という願望に似た感情が存在しています。先程の投げかけをきっかけに、「なぜそう思うのだろう？」や「どうしてきらいと感じるのだろう？」と一緒に考えながら、自分の気持ちを知るお手伝いをしてあげたいですね。

自分を成長させるチャンスに

広島大学大学院 教授 宮里智恵

「きらいな子とも……」と聞かれたらちょっと慌てますよね。でも、その子はもっと慌てているのかも。「友達をきらいと感じる自分をどうしよう。」と。多くの人と生活している以上、誰かを何となく好きになれないということは生じるものです。まずはその気持ち自体は自然なものであることを伝えて安心させます。そして、その気持ちとどう付き合うかが大切で、友達そのものを否定するのはちょっと早いと伝えます。相手のことをよく知らないままきらいと思っていることが多いからです。「少しの間、相手の良さを見つける努力をしてみても。難しいかもしれないけど、人の良さを見つける力をあなた自身が身につけるチャンスだよ。しかも、相手もあなたとの距離が縮まったことを感じてくれるおまけつき。」と笑顔で支えたいですね。

豊かな広がり求めて

葛飾区総合教育センター 教授 永林基伸
洗足学園音楽大学 講師

人間間の「好ききらい」という感情は、発達段階によって対象や意味するものが違ってきます。例えば、中学生では、相手との間で、「過去に何か直接きらいになるようなこと」があったのか、「直接ではないが、過去にある行為をする人が嫌だと感じた経験」があって、そう思うのかを聞いてみたいですね。案外、そのような思いが、自己防衛として働いています。関わりたくないと思うのは自然のことです。一方、自分自身が人との関わりが苦手であったり、他の人からの情報だけで、相手を避けたり、無視したり、攻撃的になったりしていないか、しっかり考えさせることが大切です。「仲よくしなければいけない？」と言う「べき」ではなく、「良いことあるかも」と考えることで、「人間として広がる豊かさ」に気づかせたいものです。

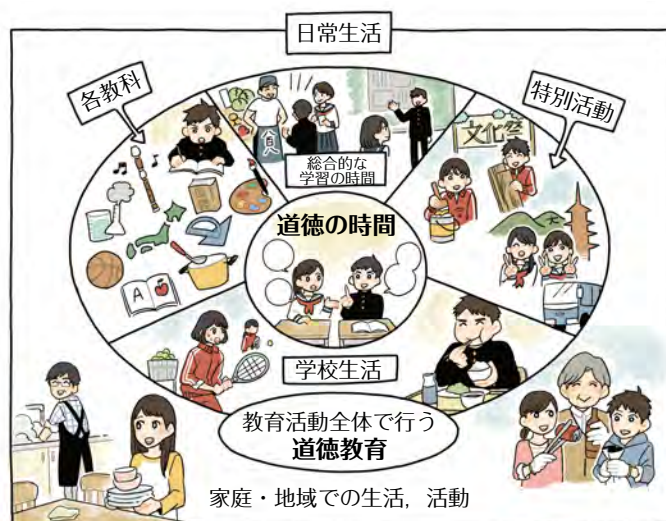
※このページ以降は、
裏表紙側から
逆向きにお読みください。



する?
どくだ先生!
マンガで考える
道徳教育

第3話 まとめ

教育活動全体で行う**道徳教育**は**体験**を通して、
かなめ
要としての**道徳の時間**は**考え合うこと**を通して、
豊かな心を育てます。この両方が大切です。



※小学校では、この他に「外国語活動」があります。

第4話 まとめ

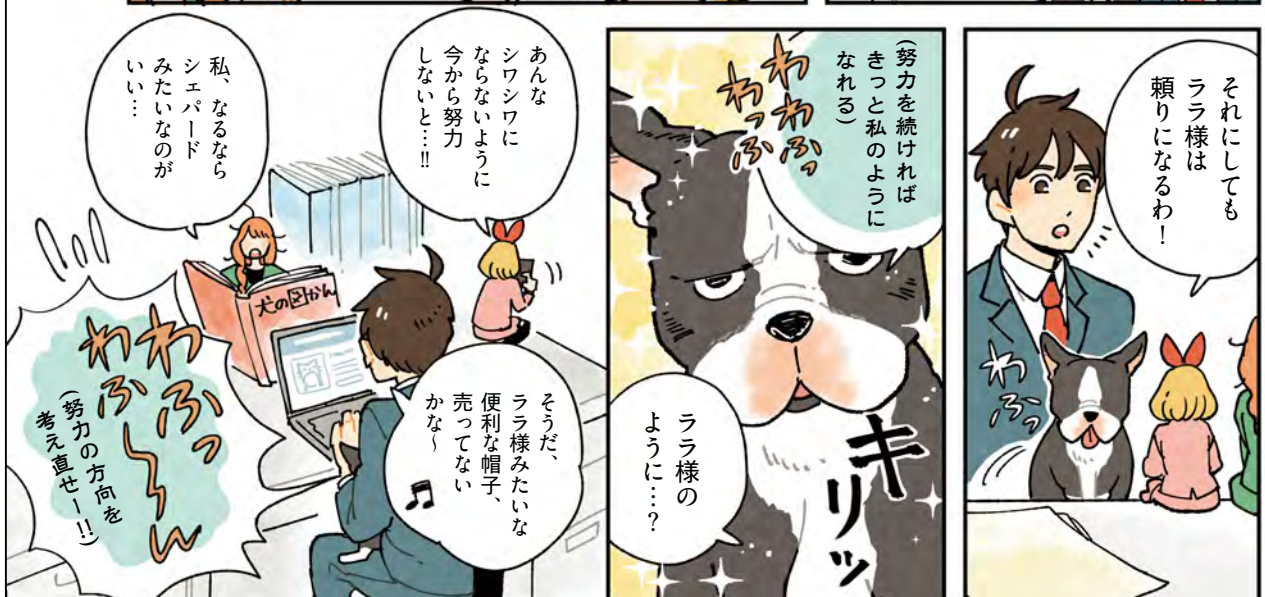
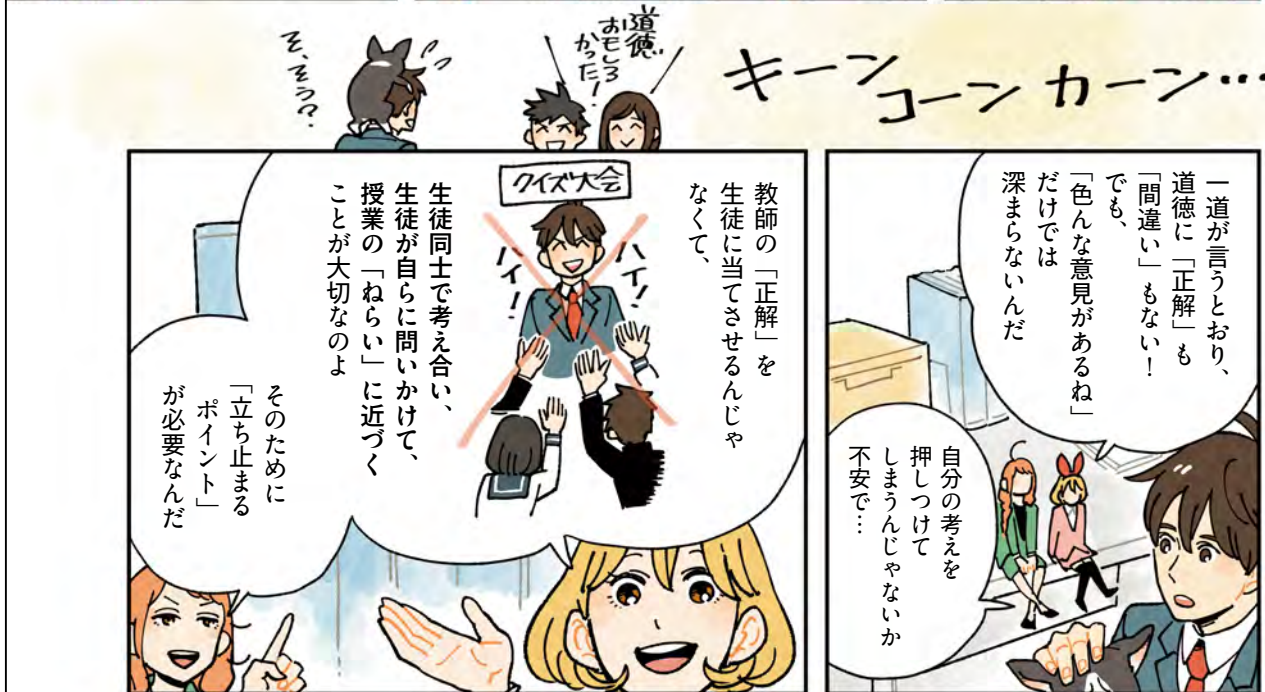
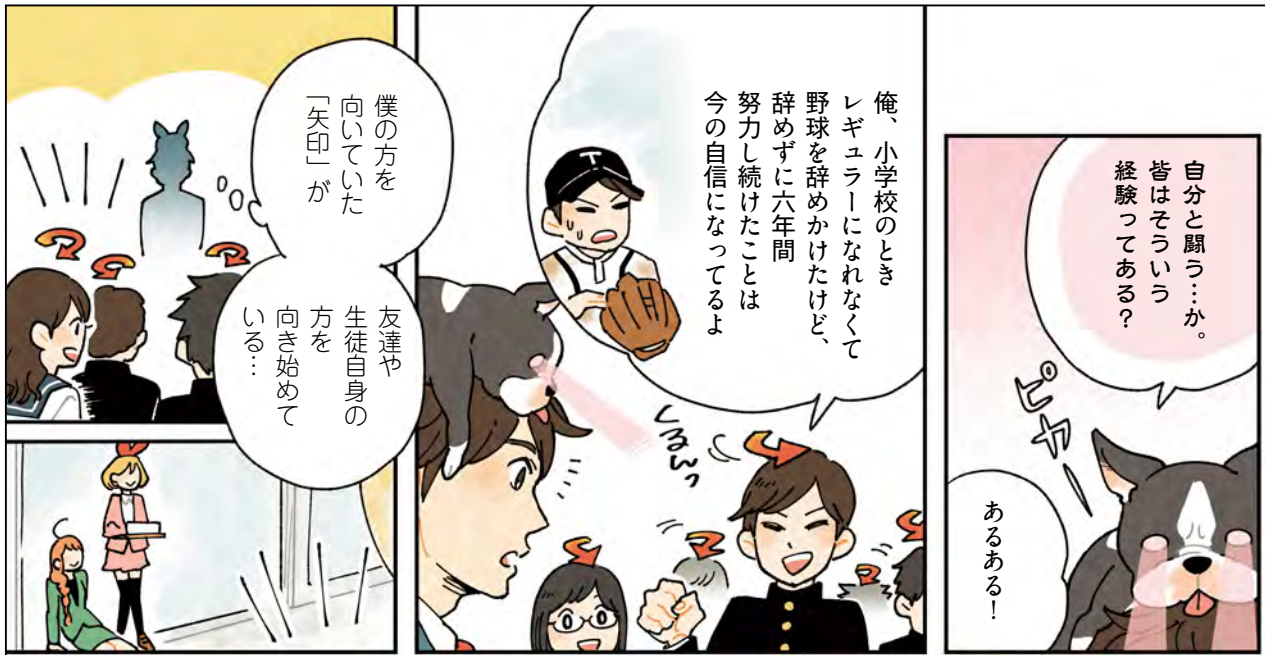


道徳の時間に、
「正解」も「間違い」もありません。
しかし、立ち止まりたい意見はあります。
**立ち止まって、皆で
その意味やよさを考え合うのが
道徳の時間です。**

このマンガの続きは弊社ウェブサイトで公開中！

ぜひご覧ください！

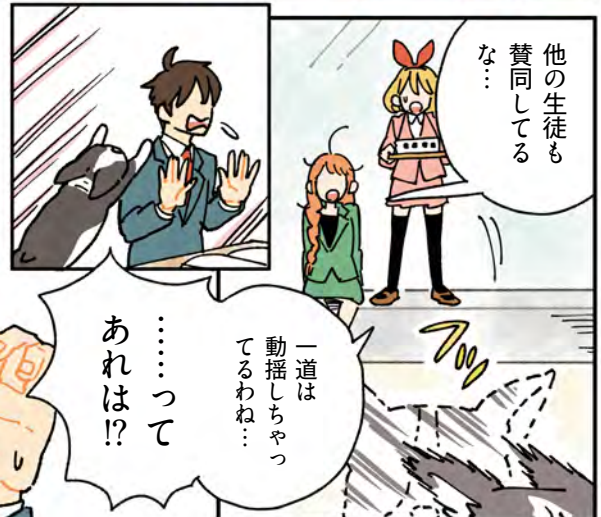
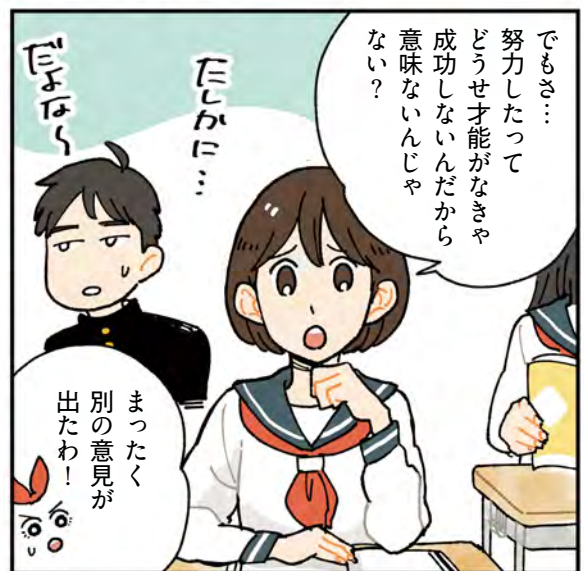
<http://www.nichibun-g.co.jp/>







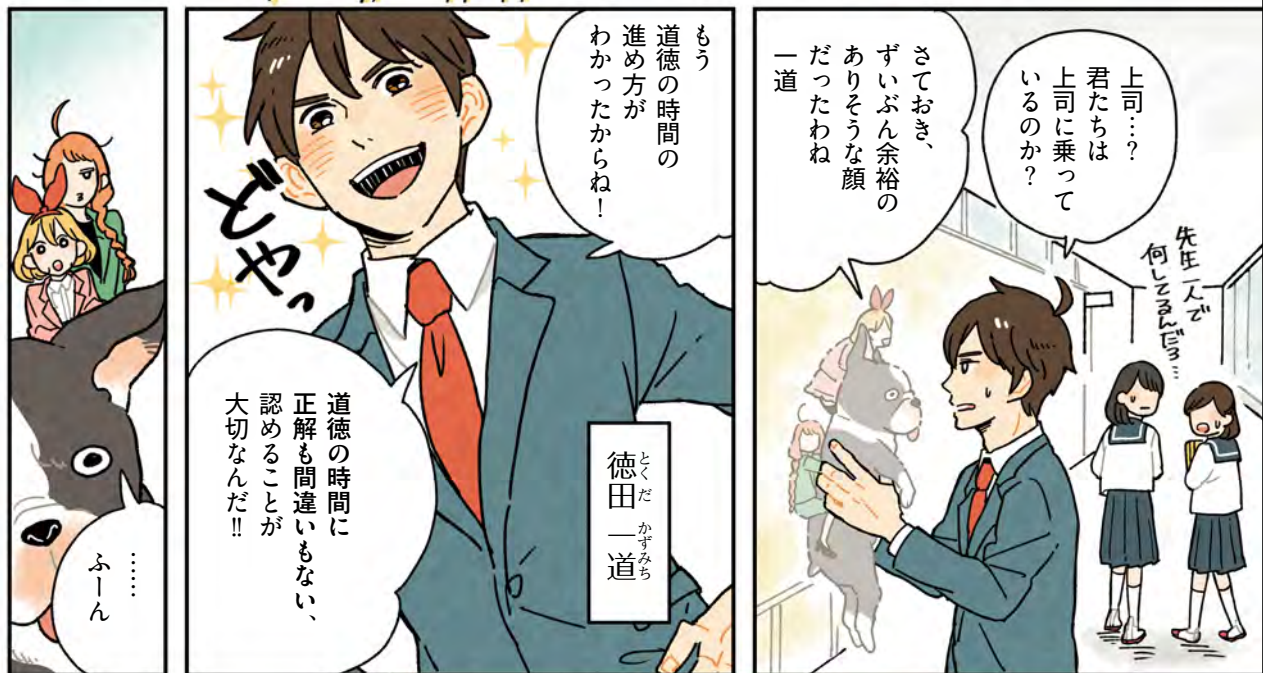
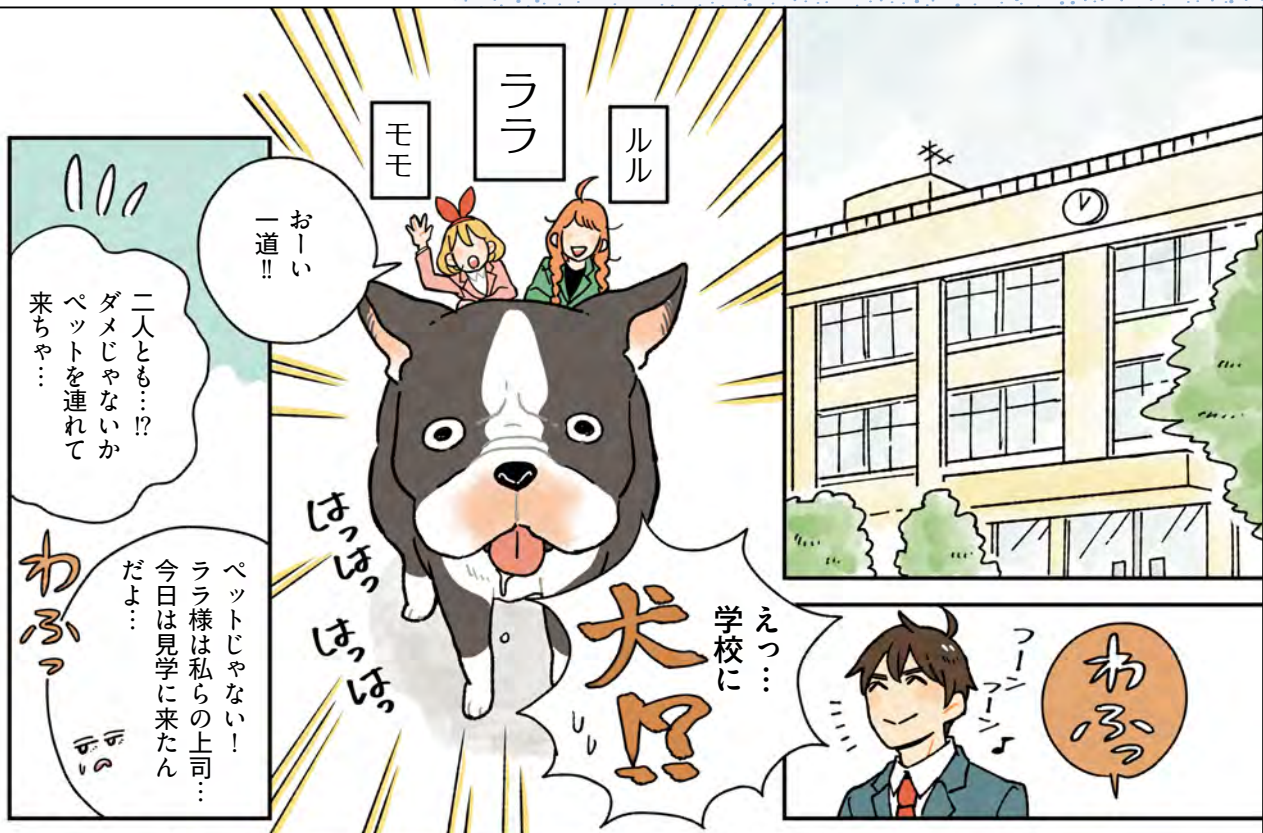
ララ…モモとルルの上司。
犬の姿をしている。



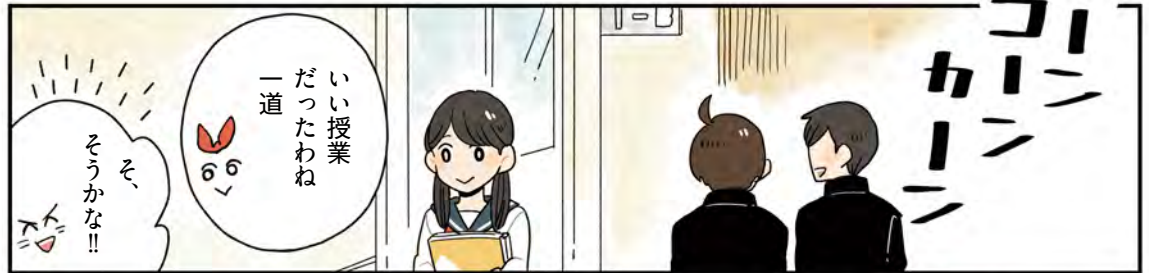
第4話

道德の時間って、

「正解」も「間違い」もないんですよね？



キコリ カコリ ニ







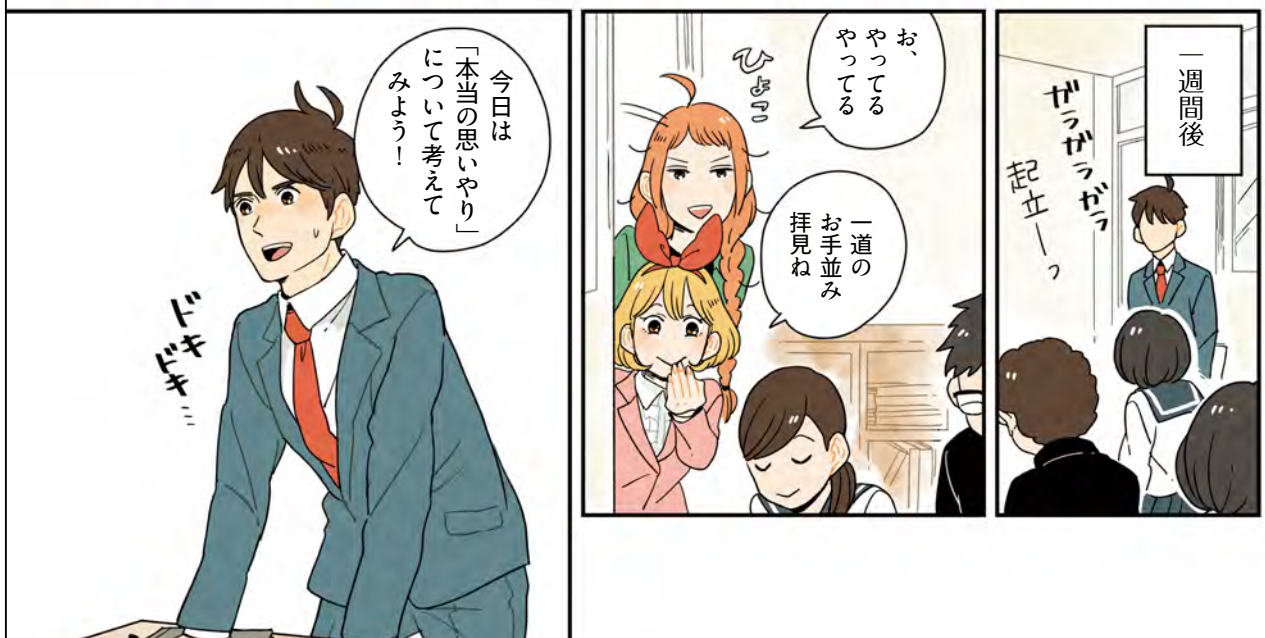
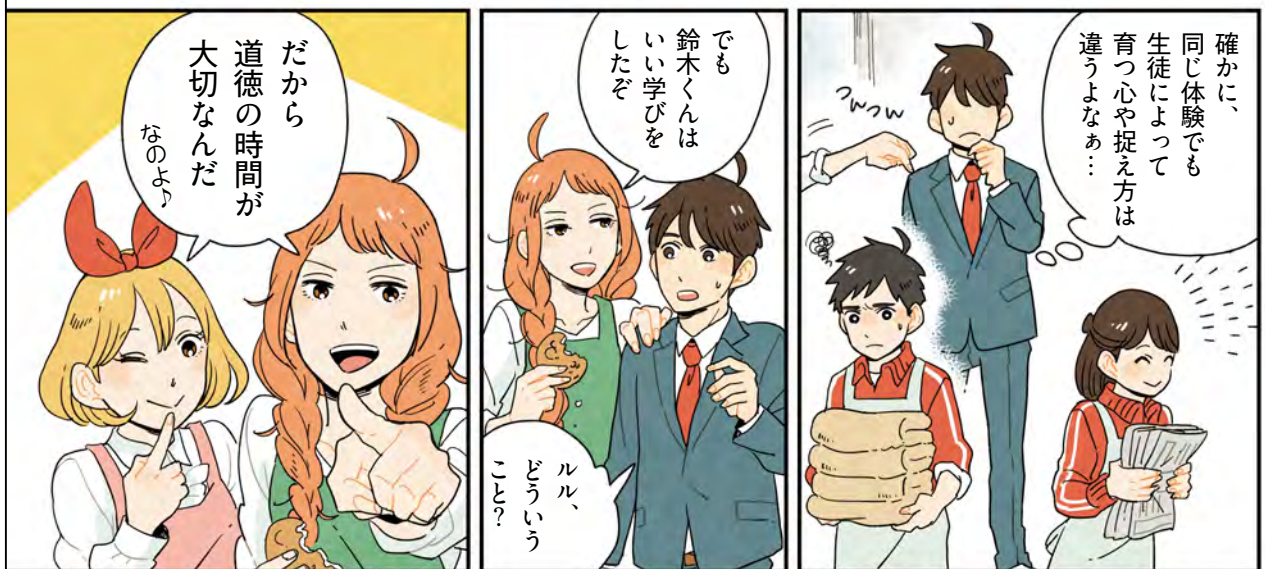
徳田一道…主人公。新任の中学校教師。
悩んでいる。



モモ…「道徳」について教えてくれる
妖精(?)。「道」にしか見えない。



ルル…モモと一緒に「道徳」について
教えてくれる妖精(?)



第3話

「道德の時間」がなくても、
道德って身につくじゃないんですか？



このマンガは…弊社ウェブサイトで公開中の「道德教育」を解説するマンガです。
ここでは、第3話と第4話を掲載しています。続きはウェブサイトをご覧ください。

弊社ウェブサイトで好評公開中の
「**どうとくマンガ**」が
続いて誌面に登場!

どうとくする? だ先生! マンガで考える 道徳教育

監修：畿央大学大学院教授 島 恒生

作画：たら子

原作：日本文教出版 編集部

第3話

「道徳の時間」がなくても、
道徳って身につくんじゃ
ないんですか?

第4話

道徳の時間って、
「正解」も「間違い」も
ないんですよね?





地球の仲間からの メッセージ



元天王寺動物園長 長瀬健二郎

共に生きる

草食系男子、なんて言葉が市民権を得てもう随分たちました。意味するところは分らないのですが、少しでも多くのメスをわがものとして囲い込むためのハーレムを作り、その縄張りをめぐって命をかけて戦うこともある本来の草食動物が仕事の対象であった私にとって、もう一つすんなりとは納得できない表現です。また草食系と一言でまとめてしまっているのも気になることです。

シマウマもキリンもゾウもアフリカのサバンナを代表する草食動物として知られています。しかし、シマウマは確かに草を食べますが、キリンはアカシアという高木に生えている葉を食べる葉食動物です。アフリカゾウは木の葉から枝や果実、草、それらがなければ樹木の皮から根っこまで食料にしています。このようにいわゆる草食動物たちは一言で草食系とはまとめられない多彩なエサを食べています。

また草をエサとするものであっても、シマウマが食べるのは草の先端部分です。動物番組でシマウマとよく一緒に登場する、ウシカモシカあるいはヌーと呼ばれるカモシカは草の中央部分を食べます。そしてこれもシマウマとよく一緒に出てくる小型のカモシカ、トムソンガゼルですが、これは草の根元の方を食べます。この

ように一本の草でもよく食べる部分が違うのです。

キリンでは、背の高いオスはさらに首を上へ伸ばして高い木の先端の葉を食べます。メスは逆に首を下に曲げ、肩から下の高さに生える葉を食べています。採食する姿で遠くからでも雌雄の判別ができるといわれるほどオスとメスは食べる部分を分け合っています。

一口に草食動物といっても、それぞれに好みを分け、それぞれが暮らしていけるようにしているのです。ではなぜ、赤の他人とうまく生活する必要があるのでしょうか。自分たちを狙うライオンやヒョウ、ハイエナといった恐ろしい敵の接近にいち早く気付くためには沢山の眼や鼻があることが重要です。すなわち同じ種でなくても群れて一緒に生活することによって、迫りくる危険を事前に察知して逃げる、このように互いに協力し合って生き残る可能性を高めているのです。

このところ世界中がかつてないほどきな臭くなっています。食料を分かち合うことによってアフリカの草食動物たちが協力して暮らせているように、人間たちもそれぞれの立場を理解し合い、多様性を認め合って平和に暮らしていくことは無理なのでしょうか。



キリンは雌雄で食べ分けをしています

教科化の準備はコレで安心！！

小学校道徳・中学校道徳 副読本

一部改正学習指導要領「特別の教科 道徳」移行措置対応！

平成30年度(小学校)、平成31年度(中学校)からの「道徳の特別教科化」を見据えた副読本です。

小学校道徳

新 生きる力 1～6年



- 一部改正 学習指導要領で、新しく追加された内容項目に対応する資料を網羅！
- 「いじめ」「情報モラル」など現代的な課題を学年の発達段階に応じて系統的に掲載！
- 各学年4～6資料の**選択資料**を掲載。学校・学級の実情に応じた資料を選択可能！
- 展開例を併記した**大きな板書例**。板書の流れに沿って発問を確認できる！
- 「指導のポイント」と「めざす児童の変容と評価の視点」でブレのない授業ができる！

中学校道徳

新 あすを生きる 1～3年



- 「いじめ」「安全教育」「情報モラル」など、「特別の教科 道徳」で重視される題材を豊富に掲載！
- 「**多面的・多角的**」に考えられるように、文章が平易で、身近な内容の資料を精選！
- 付録「**ワークシート集**」「**教師用DVD-ROM**」で、“あつ”という間に準備ができる！
- 「**問題解決的な学習**」等をサポートした指導書で、“あつ”と言わせる授業ができる！

どうとくのひろば No.15

日文教育資料[道徳]

平成28年(2016年)10月31日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5

TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33329

日本文教出版 株式会社

<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690